

CORPORATE INFORMATION

ものづくりの原点 設計に取り組む

三原発
元気企業

SEEDS SERIES

エフメック
FMEC 富士技研開発株式会社

印刷機や自動車の生産ライン、 新交通システム・車両を創造する企業

求む! 「ものづくりの喜びを分かち合える人」

若手社員の力で、 会社の未来を切り拓く!



エフメック
FMEC 富士技研開発株式会社

本社・三原技術センター 〒729-0324 広島県三原市糸崎2丁目11-1 TEL 0848-63-6666(代)

水島技術センター 〒712-8003 岡山県倉敷市水島明神町4-7 TEL 086-446-6611(代)

富士技術開発株式会社

SEARCH

<http://www.fmec.co.jp>

三原発
元気企業

SEEDS SERIES

この会社案内は、「人財と企業を結ぶ」株式会社シーズの編集です。実際に企業取材し、その特徴と魅力を学生の皆さんにお知らせしています。

SEEDS 就職アドバイザーから「ひとこと」

取材を終えて社員の方が優しく丁寧に人に接していることが伝わってきました。安定した環境をベースにさらなる高みを目指している企業です。若手社員の起用で、会社を発展させていきたいという強い気持ちを感じ取ることができました。

モノが生まれる瞬間を 味わえる、それが設計です。



企業概要

社名 富士技術開発株式会社 (略称:FMEC)
 所在地 本社・三原技術センター 〒729-0324 広島県三原市糸崎2丁目11-1
 水島技術センター 〒712-8003 岡山県倉敷市水島明神町4-7
 連絡先 本社・三原技術センター TEL 0848-63-6666 (代)
 水島技術センター TEL 086-446-6611 (代)
 創業 1963年(昭和38年)6月

沿革

昭和38年 6月 西岡 伯夫 富士技術開発株式会社の前身である(有)富士設計を設立 資本金10万円
 昭和41年 4月 三菱重工業株式会社三原製作所殿と取引を開始
 昭和42年 4月 有限会社 富士設計の新社屋を三原市古城通に建設
 昭和45年 三原三菱エンジニアリング株式会社(MREX)が設立され、取引を開始
 昭和48年 1月 有限会社 富士設計の新社屋を三原市寿町に建設
 昭和49年 4月 日立造船株式会社殿と取引を開始
 昭和52年 4月 社名を富士技術開発株式会社と改名 資本金1000万円に増資
 昭和56年 4月 日立造船エンジニアリング株式会社殿と取引を開始
 昭和61年 2月 三菱自動車工業株式会社水島自動車製作所殿と取引を開始
 昭和61年 3月 富士技術開発株式会社 水島技術センタービル建設 資本金2000万円に増資
 昭和61年 4月 会社の略称(ロゴ)を FMEC と制定
 昭和63年 4月 マイクロキャダム 32 台を導入
 平成 元年 4月 マイクロキャダム 20 台を導入
 平成 元年 9月 資本金を 5000 万円に増資
 平成 7年 3月 千代田化工建設株式会社自動車事業部殿と取引を開始
 平成 9年 7月 千代田工商株式会社殿と取引を開始
 平成12年 5月 富士機械工業株式会社殿と取引を開始
 平成16年 3月 ダイハツ工業株式会社殿と取引を開始
 平成19年 7月 資本金を 1 億円に増資
 平成19年 9月 プレス工業株式会社殿と取引を開始
 平成27年 1月 西岡 章 2代目社長に就任

富士技術開発は、昭和38年に創業した機械設計の会社です。現在の主要業務は、新聞などの印刷に使われる印刷機、段ボールの製造に使われる機械、自動車の生産ライン、新交通システム・車両の設計で、三菱重工業や三菱自動車工業が取引先の中心となっています。設計という仕事は、ものづくりの最初に行われる重要な工程です。指示されたことを図面にするだけではなく、自分のスキルや経験で、顧客の要望をカタチにしていくことに醍醐味があると思います。「設計」と言ってもデスクの上だけの仕事ではありません。プランの段階から参加し、図面を作成、さらに据え付けの立ち会いまで行きます。「ものづくり」を仕事にしたい人にとっては、自分の創

造性を十分に活かせる仕事ではないでしょうか。勤務地は、本社および三原技術センターがある広島県三原市と岡山県倉敷市の水島技術センター。どちらも最寄りの駅から徒歩圏内です。経験豊富な職人気質の社員がたくさんいる会社です。この技術や経験を若い人たちに伝え、会社を大きく発展させていきたいと考えています。社員の教育は、OJTが中心。実践を通して、図面を書いたことがない方でも、一人前の設計者に育て上げますので、ご安心ください。



取締役 副社長
西岡 宏

事業展開

印刷機械、紙工機械、交通車両、
工場の自動化設備、プラント・造船
の配管設計



求める人財 勝負は会社に入ってから

当社が求めるのは「粘り強く、あきらめない人」。やり遂げるという意志が強い人に来て欲しいと考えています。専門性が高い仕事なので、機械系を専攻していた人が理想ですが、専門外の人、CADを使ったことがなかった人も働いています。少し遠回りになるかもしれませんが、やる気があれば、必ず良い技術者になります。学生時代はしっかり楽しんで、いろいろな経験を積んでください。「勝負は会社に入ってから」。そんな期待と覚悟をもって入社して欲しいと思います。



取締役 総務部長
松林 秀樹

印刷機、自動車の生産ライン、新交通システム・車両の設計を通じて、社会を支える会社です。



安定した事業運営

創業時から、三菱重工業、三菱自動車工業など大手企業を顧客とし、製品開発設計から組み立て現場のサポートまでを行っています。新聞などを印刷する輪転機と呼ばれる大型の印刷機、新交通システム・車両、自動車の製造ラインなどが得意分野。顧客からの要請に応じてスタッフを派遣し、顧客と一体となって設計にあたることもあります。経験豊富なスタッフを中心に、安定した事業運営を行う会社です。拠点は広島県三原市と岡山県倉敷市にあります。



技術を磨くステージ

大手企業が顧客であり、「設計」するものは、社会に必要不可欠なものばかりです。数多くいる技術者は「設計のプロフェッショナル」。腕に自信がある技術者から直接学ぶことができるのも魅力のひとつです。技術者としての誇りを持って働いている人が多く、積極性も持ち合わせています。「技術を磨いていきたい」という人にとって、その舞台になれる会社です。アットホームな雰囲気の中、充実した社会人生活を送ってください。



若手社員の起用で事業を発展

一時期新卒の採用を見送っていましたが、2016年から再開しました。その最大の理由は、「技術の継承」と「未来への発展」。今後は新卒社員を毎年受け入れることによって、会社を発展させていきたいと考えています。また、現在行っている業務の他に、プラント関連の設計に進出し、事業の新しい柱に育てたいと考えています。過去にはリアモーターカーの設計に関わり、それが新交通システム・車両設計の事業に繋がりました。新しい分野に挑戦するためにも、新しい人材を積極的に採用していきます。



専門外の人でも大丈夫

入社の一きっかけは、機械設計をしている父が「設計は面白い仕事」と言ってくれたこと。大学では、設計とは関係のないことをやっていたので、図面の読み方もわからないし、CADソフトの使い方もわからない...という状態でしたが、上司や先輩が優しく一から丁寧に教えてくれます。「自分は専門外」と思っている人でもウチの会社なら大丈夫です。現在はプラントの設計を担当。新しい事業の柱にするため、日々頑張っています。



2016年入社
工学部 機械システム工学科
自動車コース 出身
大成 諒吾



一見地味だが、やってみる価値のある仕事

設計については、ほぼ何も知らない状態だったので不安がありました。でも、周りの方が丁寧に教えてくれるので、その不安はすぐなくなりました。元々機械が好きだったので、その元になる設計の仕事に魅力を感じたのが志望のきっかけです。一見すると地味に見える仕事ですが、機械や車両、製造ラインの設計など、すごいことをしている会社です。今ではやる価値のある仕事だと実感するようになりました。



2016年入社
工学部 機械システム工学科
自動車コース 出身
宮森 将司



やり甲斐は書いた図面が実際の製品になること

現在は、印刷機の部品の設計をしています。実際製品になる機械の設計なので、とてもやり甲斐を感じますね。自分が設計している部品が全体のどの部分なのか...早く全体を把握できるようになりたいです。現時点の目標はミス減らすこと。慎重に仕事を進めていきたいです。会社の方からソフトバレーに誘ってもらったり、プライベートでも気にかけてくれる方が多いので、働きやすい職場だと実感しています。



2016年入社
工学部 情報工学科 出身
國光 佑華